

関西学院千里国際 中等部・高等部

併設 OSAKA INTERNATIONAL SCHOOL

2020 CAMPUS GUIDE



SENRI & OSAKA INTERNATIONAL SCHOOLS of KWANSEI GAKUIN



関西学院千里国際中等部・高等部
SENRI INTERNATIONAL SCHOOL OF KWANSEI GAKUIN, MIDDLE SCHOOL, HIGH SCHOOL

関西学院と千里国際から 生み出される無限の可能性

Developing global citizens

Senri International Middle and High School of Kwansei Gakuin (SIS), was established in 1991 and now has almost 30 years of pioneering student centered, active learning emphasizing critical thinking and student engagement.

Cooperation and collaboration are at the heart of innovation and success in today's inter-connected world. At SIS we share our campus and many of our programs with Osaka International School and also benefit from the 130 - year tradition and experience Kwansei Gakuin brings with it, making cooperation and collaboration at the heart of everything we do.

We are thus able to offer a unique education and opportunities to our students. Our mission is to nurture informed, caring, creative individuals who contribute to the global community and while being proud of our innovative education, we are also continually striving to adapt and respond to the needs of the future generations.

関西学院千里国際中等部・高等部(SIS)は、1991年の学校設立当初から、生徒の主体的な取り組みとクリティカルに考えるプロセスを重視した先進的な教育を取り入れ、アクティブな学びの場を実現してきました。SISと大阪インターナショナルスクール(OIS)は、理念とキャンパス、そして多くのプログラムを共有し、他に類を見ないユニークな教育の機会を提供しています。さらに130年の高等教育の伝統をもつ関西学院大学との強力な教育連携により、今まさに質の高い充実したグローバル教育を実現しました。私たちはこれからも、次の時代を見すえ、教育の無限の可能性を追求します。



創造的で有能な世界市民の育成をめざして Kwansei Gakuin goals

関西学院は2039年に創立150周年を迎えます。この節目の年を見据え、2018年には将来構想である「Kwansei Grand Challenge」を策定しました。めざすのは、いかなる社会においても変わることなく、スクールモットーを体現する創造的で有能な世界市民を育てること。時代の変化を捉えながら、より一層魅力に満ちた関西学院の実現へと取り組んでいます。



関西学院院長
舟木 譲
Kwansei Gakuin
Chancellor
Jo Funaki

KG School Motto “Mastery for Service”

“Mastery for Service,” the school motto of Kwansei Gakuin reflects the ideal for all its members to master their abundant God-given gifts to serve their neighbors, society and the world.

関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”は、「奉仕のための練達」と訳され、隣人・社会・世界に仕えるため、自らを鍛えるという関学人のあり方を示しています。



二つの学校～一つのキャンパス、一つのミッション～

Two schools – One campus, one mission –

関西学院千里国際中等部・高等部(SIS)は、文部科学省の学習指導要領に基づく教育カリキュラムを展開する学校です。キャンパスには、教育に国際バカロレア(IB)を採用し幼稚園から高校3年生までが通う、関西学院大阪インターナショナルスクール(OIS)が併設されています。SISとOISという2つの学校はキャンパスとミッションをともにし、さらに、課外活動、理念、経験、夢をともにしています。「Two Schools Together」と呼ばれるこの姿は、私たちを唯一無二の存在にすると同時に、帰国生、一般の日本人生徒、外国人児童・生徒のすべての人にとって、最高の教育を提供することを可能にしています。多国籍・多文化・多言語という本校ならではの教育基盤と、そこで展開される自主的で活発な活動の数々が、生徒一人ひとりを「世界市民」へと導くことをお約束します。

CONTENTS

- P01 無限の可能性 一関西学院の理念一
- P03 二つの学校、一つのキャンパス
- P05 SISの学び、OISとともに
- P07 言語教育
- P09 理系の学び
- P10 社会科の学び
- P11 広がる学びのフィールド～総合探究～
- P13 SISとOISの学び
- P15 キャンパス年間スケジュール
- P17 生徒が語るSIS
- P18 学ぶ環境をもっと知りたい－Q&A
- P19 カウンセリング & サポートシステム
- P21 学校生活環境
- P22 クラブ活動
- P23 生徒寮
- P24 卒業生の声
- P25 進学状況実績
- P26 入試情報

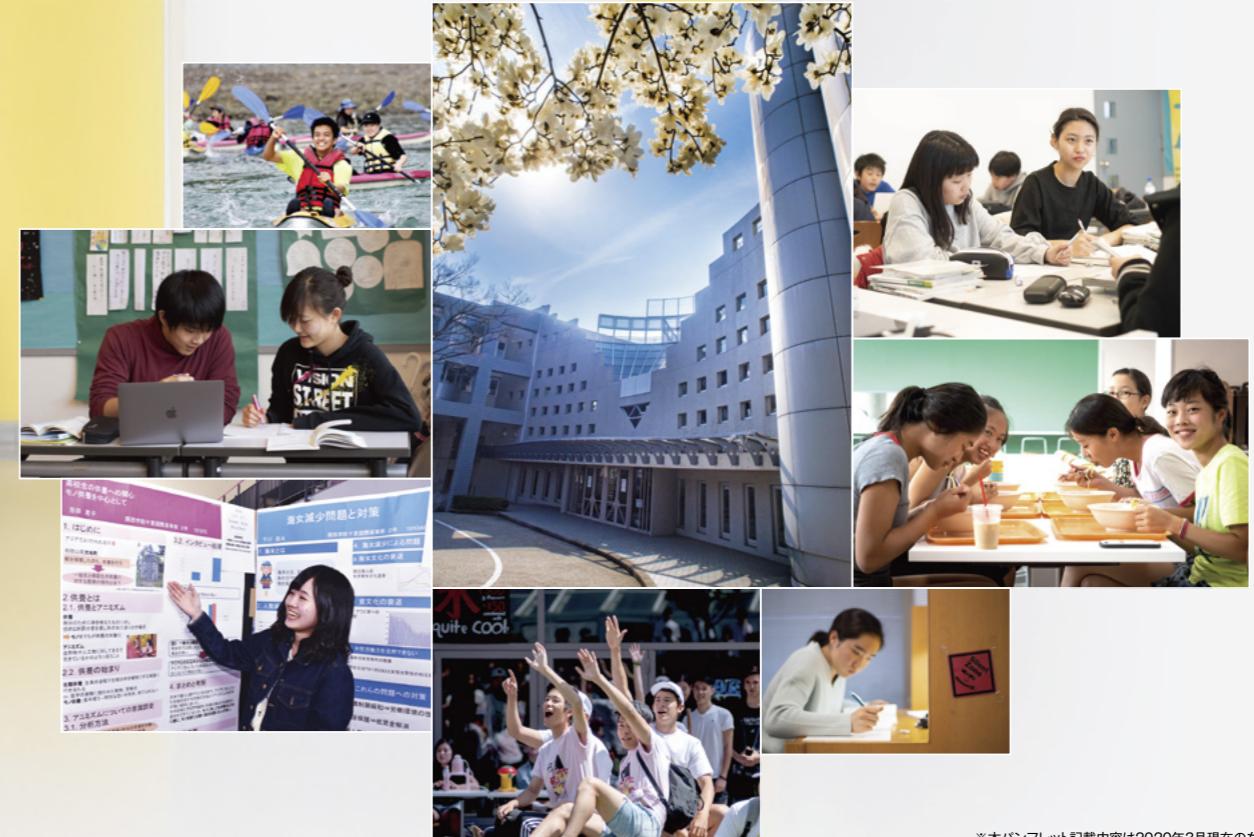


School Mission



Informed, caring, creative individuals contributing to a global community

知識と思いやりを持ち、
創造力を駆使して世界に貢献する個人を育む
SISとOISの教育は、すべてがこのスクールミッションの実現をめざして行われています。ミッションの実現のためには2つの学校が緊密な関係を築き、両校の児童生徒と教職員が一体になって活動することが不可欠だと私たちは確信し、他に例を見ない「Two Schools Together」を推し進めています。



5 Respects

SISとOIS共通の5リスペクト

- ・自分を大切にする
- ・他の人を大切にする
- ・学習を大切にする
- ・環境を大切にする
- ・リーダーシップを大切にする

SISには細かな校則がありません。その代わり自分の行動に責任を持ち、他者とのよりよい人間関係を構築するための能力を育む5つのリスペクトがあります。この5つのリスペクトは児童生徒と教職員にとって、判断の基準であり行動の指針にもなっています。

※本パンフレット記載内容は2020年3月現在のものです。



自ら学ぶ、行動する。そしてともに、学ぶ。

SISの学び

関西学院千里国際中等部・高等部(SIS)が1991年の開校時から受け継いできた伝統に、「自ら学ぶ」「ともに学ぶ」「行動する」という学びへの姿勢があります。これらの姿勢を通して、生徒は基礎力から実践力、そして人間力を高め、世界市民として成長していきます。SISでは、「自ら学ぶ」「ともに学ぶ」「行動する」を実現するために、様々な特色ある学習環境を整えています。

学期完結制

SISの1年間は、春・秋・冬の3つの学期で構成。それぞれの学期には60日の授業日があります。特色的なのは、通常は1年間にわたって行われる1科目の学びを、1つの学期に集約していることです。単位認定は1学期ごとに行われ、同じ授業が1年間の複数の学期で開講されています。この「学期完結制」により、海外の大学への進学や海外からの帰国に伴う編入学などがスムーズに行えます。また、それぞれの生徒の学習到達度に応じた授業の選択が可能になっています。

自分だけの時間割

中等部では、英語と国語において習熟度別のクラス分けを実施。音楽では「吹奏楽」「弦楽器」「コーラス」が選択でき、生徒一人ひとりの学びの到達状況と興味に応じた個別性の高い時間割になっています。高等部ではさらに、学びたい授業・学ぶべき授業を自ら考え、組み合わせていく様子。学校が決めたコースではなく、生徒一人ひとりが自分にとって必要な学び方を決めていきます。そのため、同じ時間割の生徒は一人もいません。



自由選択システム

時間割を作るのは生徒自身。自分が学びたい科目を選び、自らの意思で授業に参加することで学びへの意欲は格段に高まります。また、そのような生徒の思いに応えようという教員の創意工夫も引き出され、質の高い授業が行われます。

無学年制

必要なものを、必要なときに学ぶのがSIS流。そこでは、学年という枠組みは意味を持ちません。生徒は、自らの習熟度や将来の目標を見つめ、「ゴールにたどり着くためには、いま、何をすべきか」を考えて履修科目を選びます。年齢や経験の異なる生徒がともに学ぶことも、互いを刺激し、高め合うという効果を生み出しています。

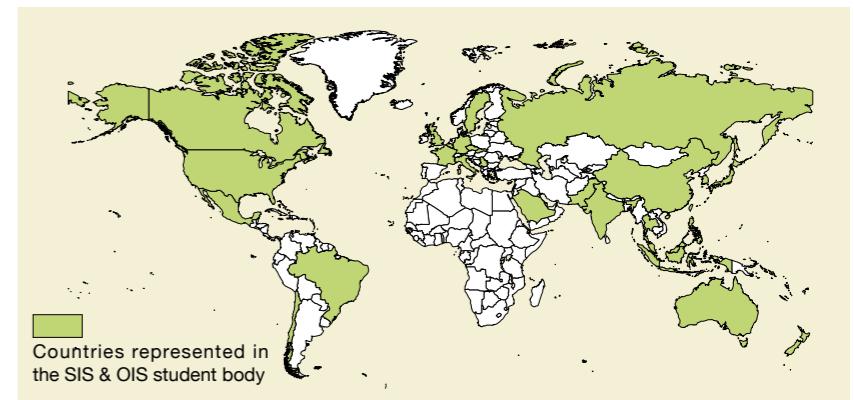


OISとともに

関西学院大阪インターナショナルスクール(OIS)と校舎、授業、課外活動、理念、経験、夢を共有する「Two Schools Together」は私たちが教育の基本とする姿です。30以上の国や地域から集まった生徒がともに学び、ともに切磋琢磨することは、他では得られないSISならではの経験として生徒を大きな成長に導いています。

マルチリンガル・多文化理解・多芸多才

SISとOISの生徒やその家族の出身地は世界30カ国以上に及びます。この多国籍・多文化・多言語の学習環境は、本校の国際教育の基盤です。共通語は英語と日本語で、生徒会には通訳の役職もあります。英語は初級からネイティブまである習熟度別のクラスで、ABCから始めて海外の大学をめざしたり、海外で身につけた英語をネイティブの年齢相応あるいはそれ以上に伸ばすことが可能です。また、第3言語を学ぶ生徒も多数います。



シェアードプログラム

「二つの学校、一つのキャンパス」という特性を活かし、SISとOISの両校の生徒が一緒に受講する科目群が、「シェアードプログラム」です。異なる経験や文化的背景を持つ生徒がともに学ぶことは、多様性への理解を深め、刺激し合いながら成長するための絶好の機会となっています。多くの場面で「共通語」は英語になっており、語学力の強化にも最適な場となっています。



クラス・学年・授業の人数構成とバックグラウンド

SISのホームルームは、1クラス24名まで、各学年4クラスあります。男女比は学年によりますが、男子1/3、女子2/3程度の学年が多く、全体では現在男子が34%、女子が66%を占めています。授業は多くが1クラス24名以下で行われており、10人以下の授業も少なくありません。SISとOISには多様な文化背景を持った生徒や教員が世界各地から集まっています。



グローバルな活躍を支える コミュニケーション力と思考力

Developing communication and thinking skills for

海外からの帰国生や外国人生徒、そして日本で生まれ育った生徒が一つのキャンパスで学ぶ本校は、外国語を学び、国際理解を深めるには最適な環境。海外の大学への進学やグローバル企業への就職を視野に入れ、読む・書く・聞く・話すの4つの要素をバランスよく、そして高いレベルで磨きます。独自の教育内容や多様性にあふれた学びの環境により、語学力だけでなく、英語を用いたコミュニケーション力や思考力を養うことが、本学の外国語教育の特色です。

英語教育 5つのレベル別コース

「初めて英語を学ぶ」という生徒から、英語を母国語とする生徒まで、様々なレベルに応じたコースが設置されています。コース分けにあたっては、学期ごとにプレイスメントテストを実施。習熟度合いに応じて、きめ細かな指導が可能になっています。これらの指導体制の結果、全国学力テストや各種検定で高い実績を収めています。

S	標準レベル Standard Level	英語学習歴がほぼない
S+	標準+レベル Standard Plus Level	基礎的な英語力があり、自分や家族について簡単な英会話ができる
i	中級レベル Intermediate Level	長い文章を読んでそれについて理解し、自分の考えを簡単だがはっきりと口頭および文章で表現できる
h	上級レベル Higher Level	ネイティヴに近い会話力、作文力があり、ほぼ文法ミスなく自分の考えを自由に表現することができる
h ⁺	ネイティヴレベル Native Level	英語を母国語として話し、日常生活でも英語を使用する

5 Levels of English

We cater for any level of English from complete beginner through to native speaker. Students are placed in classes that precisely meet their needs and abilities.

SISの英語教育はこちら ➡

英語教育 生徒のニーズに合わせた独自の英語教育

Sレベルの9年生では、英語の小説などを教材として用います。10年生以降では、「通訳翻訳」「プレゼンテーション」「文学」など、英語の学びをさらに細分化。生徒のニーズに合わせ、将来の目標や興味に応じた教育を展開しています。50種を超える多様な英語の授業は、語学力だけでなく、海外の歴史や文化への理解を深め世界市民としての素養を磨く機会にもなっています。



A variety of challenges

Standard-level students write English essays and read English literature from the third year of middle school. In high school, over 50 English courses are offered to suit a variety of needs and interests. We focus on learning through English as well as learning in English.

Student Voice



「思いを伝える力」まで磨くことができる

小学校の約1年間をアメリカの現地校で過ごしました。当時は英語で苦労しましたが、せっかく身についた語学力を帰国後も磨いていきたいと思い、SISに入学しました。SISならではのレベル別クラス分けは、自分の語学力に応じて無理なく学べるだけでなく、「もっと上のレベルの英語力を身につけたい」というモチベーションの源にもなっています。また、ディスカッションやプレゼンテーションなど、「英語を使って思いを伝える」という語学の本質的な部分を学べることもSISの魅力だと感じています。将来は「母語教育」に関する研究か、多角的な視点で情報を届けるニュースキャスターという仕事にチャレンジしたいです。

高等部
永橋 風香さん

力を養う global success



日本語 日本語もしっかりサポート

日本語に不安を持つ生徒に対しては、授業中に教員が個別にサポート。放課後の特別授業も行っています。また「基礎国語」、OISで開講されている「Japanese」の授業も活用し、レベルに応じた指導を行っています。さらに、カウンセラーなどが生徒一人ひとりへ個別に相談に応じ、不安や悩みの解消に努めています。



Japanese support

Students who need support in Japanese take our basic level Japanese course and also have the opportunity to join OIS Japanese classes. Teachers and counsellors can offer extra support as needed.

国語/日本語教育はこちら ➡

第2外国語 第2外国語も充実

海外で学んできた、英語以外の言語を学び続けたいという人や、英語以外の言語にもチャレンジしたいという人のために、高等部では、5つの言語（中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語）のクラスを開講。それぞれの言語について、海外経験を持つ人を主な対象としたコースと、初めて学ぶ人を対象にしたコースを設けています。



Learning a 3rd language

At SIS we recognise the importance of learning languages other than Japanese or English. Five other languages are also taught to returnees who want to keep their current skills and to beginners who would like to learn a brand new language.

第2外国語教育はこちら ➡

Student Voice



ていねいな指導と興味をかき立てる授業で楽しみながら フランス語を学ぶ

将来の目標は、フランス語を使って仕事をすることです。この夢に向かって進むためのステップとして、第2外国語でフランス語を学ぶことにしました。SISの先生の授業はとてもわかりやすく、理解できるまでていねいに教えてくれます。フランス語だけでなく、フランスの食べ物をはじめとした文化についても教えてくれるので、勉強がとても楽しいです。フランス語は世界で広く使われている言語の一つです。フランスはもちろんのこと、アフリカに行ったときなどに多くの人と会話できることが、今から楽しみです。

高等部
井内 景都さん



理数情報(STEM)について
はこちら



社会科について
こちら



見つけた!と出逢う。未来が広がる。

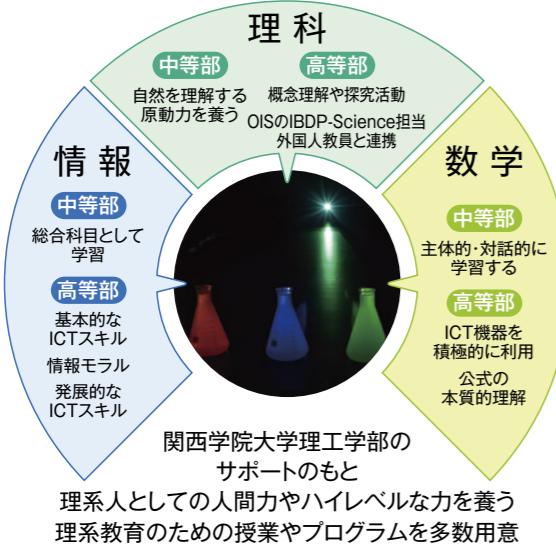
Discovering the joy of discovery



ノーベル賞に輝く研究者の育成をめざして

SISの理系分野では、世界を舞台にして活躍する研究者の育成をめざしています。合言葉は、「SISからノーベル賞受賞者を」。そこで、基礎力はもちろんのこと、実践力を養う多数のプログラムを学内外で実施。理科、数学、情報の分野を横断し、論理的かつ創造的視点に立って、仮説の立案と検証を繰り返していきます。研究などの活動にあたっては、自身の「なぜ?」を出発点にして生徒が自らテーマを設定。研究の目的や意義を深く理解し、主体的に取り組むことが特長です。

SISの理系人材育成のための目標



基礎理科[中等部1年生理科]

4月最初の授業はガラス細工です。ドリップ溶けるガラスに誰もが夢中になるこの授業は、実は物質の融点測定の実験。精密な測定には特別な試験管が必要ですが、SISではそれ自作します。物質の正体を見つけるまで、何度も実験を繰り返し、成功したそのとき、実験室に歓声が響き渡ります。科学の原動力である発見の喜びを体験する瞬間です。SISでは様々な実験を通して、科学の原点を学んでいます。

総合物理[高等部]

週に3時間で6学期間学びます。物理基礎と物理を統合して学ぶ理系のための授業です。オーストラリア国立大学の客員研究員でもある教員が担当。同じ物理実験室で開講されているOISの国際バカロレア・ディプロマプログラム(IBDP)のIB-Physicsの長所を取り入れ、考えることを大切にした授業を行っています。

科学研究プログラム[理科]

高大接続プログラムの1つ。SISの高校生が、関西学院大学理工学部で1週間の研究室生活を体験します。大学のハイレベルな知識や研究を学ぶと同時に、大学生や大学教員など様々な理系人と触れ合うことで、「理系で生きる人」そのものを学びます。本プログラムで得た知識や経験は、SISで自らが取り組む研究へと活かされています。

「何のための数学か」、自ら気づく

公式の修得や演習だけにとどまらず、公式や定理が生まれた背景や日常生活との関連性にまで視野を広げて学ぶのがSISの数学。数学に関する疑問や興味を出発点にしてリサーチやプレゼンテーション、ディスカッションへと学びを発展させ、グローバルな理系人材としての素養を磨いています。

STEM分野の取り組み(プログラミング学習)[情報]

教材には「Scratch」を使って動くロボットを活用。センサーやジャイロを駆使し、思い描いた動きを実現する学びに取り組みます。また、ブロック状の電子タグを用いて、自分が考案したIoTの実現に挑みます。言語やプログラミング方法を「覚える」のではなく、プログラミングを使って「アイデアを形にする」ことに主眼を置き、そのためチームでの活動やリサーチとディスカッションに力を入れていることが特長です。

未来を拓く世界市民の一員として

SISでは、社会科の授業は、世界市民としての成長に不可欠な「思考する力」「協働する力」「探究する力」「表現する力」を養う絶好の場だと考えています。中等部では、基礎知識の定着はもちろん、生徒自身の「WHY?」を大切に、考えることを重視する授業を実践。生徒は、お互いの様々な背景を尊重し、学び

合いながら、協調性、探究心、情報分析力や表現力を育みます。高等部では、さらに高度な授業を選択し、仲間と共に一人ひとりが問題解決のための学びを実践していきます。参加型、プロジェクト型、講義型など多様な学びのスタイルを活用していることも、SISの社会科の特色です。

■ 高等部の具体的な授業の一例

世界史(International Relations)の授業[高等部]

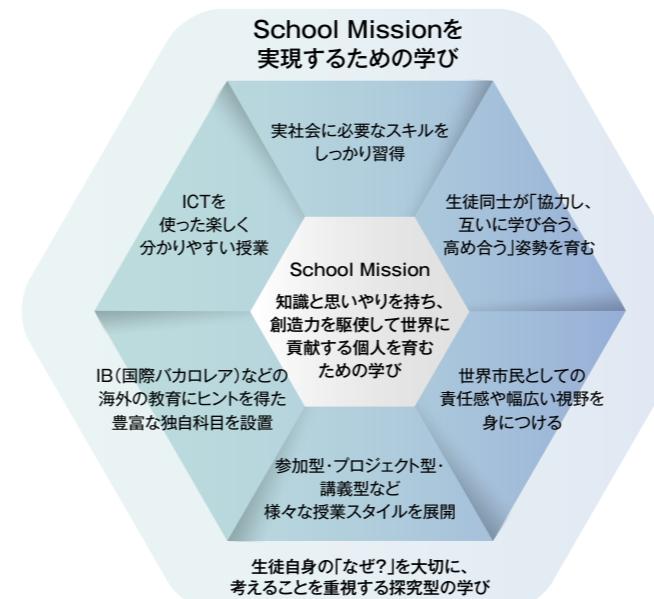
アジアの視点を中心に、主に20世紀の歴史を学習します。ペアワーク、グループリサーチ、プレゼン、論文作成などを通じて、各時代の特徴、出来事の因果関係、意義や影響を様々な角度から多面的に分析し、考察します。そのことで、単に歴史の知識を得るだけでなく、歴史的なものの見方や大学や社会に出た時に役立ついろいろなスキルを身につけます。

ビジネスモデル及び地域活性政策ゼミ[高等部] [SDGs×ビジネスモデル]

自分の身の回りの地域から世界まで、現代の様々な問題(SDGsをテーマ)を見つめ、そこから課題を発見してその解決策やビジネスモデルプランを個人またはグループで考えます。現代経済の仕組みと特質や現代社会の諸課題を考慮しながら世界から自分たちの地域へとグローバルからローカルへと視点を変えていき、最終的には自分たちでビジネスモデルを考え、提案します。

平和学入門～平和学特講[高等部]

開校2年目に生徒のリクエストで誕生した科目「地球社会と個人」をもとに、平和学の基礎を踏まえて、国際法や国際政治などについて学ぶ科目で、より平和な世界の仕組みを考案し提案していくというプロジェクトにチャレンジします。履修生の中からは、大学で平和学を学んだり、実際に国際機関で働いたりする人が出ています。厳しい世界の情勢にもかかわらず、平和を創るために方法に強い関心のある人、将来、世界のために直接貢献したい生徒たちが履修しています。



Student Voice



興味や疑問が出発点の学びに、ワクワクが止まらない毎日

今まで自分とも認めるリケジョですが、小学生の頃は理科嫌いでした。それが、SISの中等部で経験した理科の授業をきっかけに、「おもしろい→なぜだろう→なるほど」という、理系ならではの実験を重ねながら答えを見つけ出す魅力にハマりました。SISの学びの出発点は、いつも、自分自身の興味や疑問です。それを解き明かしたい、もっと知りたいという気持ちで学びに取り組むので、「やらされている」という感覚はまったくありません。やる気も理解度もまったく違います。今は、科学研究に興味があります。「どうやったら答えを出せるか?」という方法を自分で考え、それを実践し、そこで出会った新たな疑問の答えを探していくというプロセスに、毎日ワクワクしています。

Student Voice



興味を掘り下げ、夢に向かって学ぶ「本当の勉強」ができる

興味ある分野をどんどん学べることや、学びのスタイルが独特であることがSISの魅力。例えば「平和学」では、兄弟喧嘩からヨーロッパで起こった30年戦争まで、ありとあらゆる争いごとをテーマに少人数クラスでディスカッションします。「世界思想史」では、哲学者になりきってプレゼンテーション。難しいとしか思っていないかった哲学が、自分の生活につながっていることを知りました。疑問に対していくらでも時間を割いてくれ、反対意見も受け止めてくれることもSISならでは。自分で考えて意見を言う授業は、模擬国連やWorld Scholar's Cupにも生かせます。暗記や受験のためではなく、興味を掘り下げて夢の実現に向かっていく、本当の意味での勉強ができます。

Extending the field of learning

広がる学びのフィールド

知的好奇心からレジリエンスに富むグローバルリーダーの育成



つながる LINK

学外へ飛び出し、知を探究する 総合探究

「なぜ？」からはじまる生徒の探究心を何よりも大切にするのがSISでの学び。好奇心を刺激してくれる場所やモノ、「なるほど！」へ導いてくれる人やコト。それらと出会うために、教室や学校という枠組みを超え、活発に学外に飛び出していく環境がSISにはあります。様々な場で研究、ビジネス、社会活動など、幅広い分野の“プロフェッショナル”から直接学べるチャンスを生徒に提供できるのは、SISが長年にわたって取り組んできた、「探究する授業」を各方面から評価していただけた結果です。

知的好奇心の発掘(中等部)

7年生では、自分の“好き”に着目し、好きなものを徹底的に調査研究することにより、調査方法、情報収集、論文作成の基礎を楽しく学びます。8年生では、作成した論文をスライドに頼らず、話法で人を引きつけるTED式プレゼンの方法を学び、発表会を行います。8年生冬学期から9年生は、SDGsの17の目標の中からテーマを選び、SOIS校内でできる最初の一歩を考案し、実践方法を模索していきます。自分の体から湧き上がる好奇心を原動力として理論を考え、それを社会の中で実践するところまで引き上げる、理屈を理屈で終わらせないところがSIS探究の魅力です。



レジリエンスに富むグローバルリーダーとしての自覚(高等部)

探究とは何かを本質的に問いつつ、興味あるテーマを突き詰めて考えていきます。「知の探究」10年生では、「知の哲学」「仮説設定と分析方法」「調査研究手法」「正しい情報の見分け方」などを学びます。11年生は分野別のフィールドスタディから一つ選択。各生徒には専門性を生かした二人の専任教師が付き、論文の基礎からフィールド調査の方法、研究計画書(研究デザイン)の書き方などに至るまで徹底的にサポートします。その上で中間報告を行い、12年生ではそのデザインを実際の論文と仕上げます。



Student Voice

高等部
和田 茉奈実さん



国際舞台で研究成果を発表。夢や活動の舞台がどんどん広がっていく。

SGHの研究では、「『船の避難所』の可能性:障がい者の被災後の生活再建のために」というテーマに取り組みました。宮城県でフィールドワークやインタビューを行ったほか、「ぼうさいこくたい」に参加し、提案を完成させました。研究成果は世界高校生津波サミットやアジアオセアニア高校生フォーラムなどで発表を行いました。この研究をきっかけライフセービング活動を始め、海での救助活動や大会にも参加するようになりました。また、オーストラリアで障がい者のためのキャンプを企画し、SISの奨学金と現地ボースカウトの協力を得て企画を実現することもできました。夢や活動の範囲はどんどん広がっています。それを応援してくれるのが、SISという学校です。

歩む STEP

段階的に歩む「知の探究」 コア科目スケジュール

7年生-8年生(春学期)

「友人・学校で働く人インタビュー」により、自分を支える人々の存在に気付く。自分の好きなものをより深く掘り下げるこににより、調査探究する楽しさを知る。

8年生(冬学期)-9年生(春学期)

SDGsの17の目標について学び、その目標を達成するための第一歩を計画し、SOIS校内で実践する。社会の一員として、行動を開始することの大切さを学ぶ。

10年生(高校1年生)

11年生(春・秋学期)

12年生

知の探究

基礎力(特にリサーチに関すること)と実践力の基礎を学ぶ。知るとは何かやリサーチどのように行うなどを学ぶ。

Field Studies

自分の興味に基づいて、Field Studyに出かける。その事前準備をする中で、基礎力・実践力・人間力を身につける。

Research Design

自分の興味分野をさらに掘り下げ、先行研究を行い、研究可能なRQと研究計画を立て、学期末にポスタープレゼンを行う。

ほかの授業

探究プログラムで高めた力を他の授業や活動に応用する。

卒業Project

最終的に研究計画に基づき、論文を完成させ、関連するプロジェクトを実行する。基礎力・実践力・人間力の総仕上げ。

卒業発表

集大成として、プロジェクトに関わった人や保護者の方々を招いて発表する。

見つける GET

取り組むフィールドは地球規模

フィールドスタディ

フィールド・スタディ(FS)	概略／研究対象	実施時期	実施主体
SDGs1	行政の立場から国際協力の最前線で活躍する人を取材する。国際機関や政府系開発援助などの実際、課題と可能性、NGOとの比較。	夏休み	社会科
SDGs2	企業の経済活動を通じた社会貢献活動や、社会起業家として活躍するビジネスパーソンを取材し、現状と課題を深く掘り下げて取材。	秋学期	
科学研究 最先端の科学研究を研究する	関西学院大学理工学部の研究室で研究体験。第一線で活躍する研究者をインタビュー、研究に対するスキルや考え方を会得し、自分がめざす専門分野を探究。	夏休み	理科・数学科
気候変動と社会	温暖化問題に取り組む研究者、企業・政府関係者を取材する。予測と対策/IPCC、COP21/科学と政治、経済、世界・日本の社会のあり方。	夏休み	総合探究科
ディザスターマネジメント	事前学習でライフセーバー体験後にプロを取材し、防災について考察する。防災推進国民大会、世界津波の日高校生サミット、防災キャンプ。	秋学期	
地域活性と農業	日本の農業界の様々な問題に対し、食料生産を担う産業として「農業」と「畜産」を軸に、商品開発、製造加工、マーケティング、コミュニティマネジメントをひとつの事業体として実践しているのがモクモクファーム。ここでの事例をもとに、農業につながる様々な産業を次世代に、地域につないでいく方法と一緒に考える。	夏休み	
言語と文化	「ことばの力」を探究する。「ことば」と社会、教育、心理、文学の関連性を考え、分析を行う。本校に講師を招き集中的にリサーチ。	夏休み	英語科
文楽	江戸時代の大坂で生まれた人形浄瑠璃文楽。現代の高校生が、その「これまで(伝統の継承)」と「これから(未来の可能性)」を展望する。	夏休み	国語科
アカデミック キャンプ 地域創生 むらのこし	長野県小谷村の超限界集落に滞在。住民の視点から過疎化問題を考える。地域住民と関わりながら真の問題点を学び、現実的な村のこしの可能性の探究。	夏休み	サマーキャンプ 高校1年生対象 プレ・フィールドスタディ・プログラム
アカデミック キャンプ アジア学院訪問	民間による国際協力の現場として栃木県のアジア学院を訪問。途上国の農業研修生との交流を通じて、途上国の現状を知る。食の安全に取り組む研究者を取材。	夏休み	



SIS & OIS

学びをシェアする。世界をシェアする。



二つの学校、一つのキャンパス、一つのミッションを実践する

国際バカロレア (IBDP)

An international education

SIS students have a number of chances to experience the highly regarded and internationally renowned International Baccalaureate Programme. In High School, depending on their needs and interests, they can choose a taster for a trimester, they can study a single subject or they can take the full two-year diploma.

Opportunity 1 The Shared Programmes		Opportunity 2 Single Courses	Opportunity 3 The Full Experience
Who	All MS Students (Grades 7,8,9)	All HS Students (Grades 10 & 11)	H/H+ level HS Students (Grades 11 & 12)
Level	MYP (Middle Years Programme)	Course Candidate	IB Diploma Programme
Subjects	Art, Music, PE	IB English, IB History	All subjects
Classes	SIS Shared MS classes	SIS HS Classes	OIS HS Classes
Awards	—————	Course certificate	IB Full Diploma

What is the IB?

The International Baccalaureate (IB) is a rigorous programme for students aged 3 to 19. Founded in Geneva in 1968, its diploma programme is recognised by universities in 90 countries around the world. The IB emphasizes student directed learning and focuses on critical and independent thinking. It aims to develop flexible and empathetic global citizens to be future innovators and leaders.

IB learners are encouraged to be:

- Inquirers
- Open-minded
- Knowledgeable
- Caring
- Thinkers
- Risk-takers
- Communicators
- Balanced
- Principled
- Reflective

「国際バカロレア (IB)」とは

国際バカロレア (IB) は、3歳~19歳を対象とした国際的教育プログラムです。高校卒業時に取得できる資格は現在、世界90か国の大学で入学条件として認められています。クリティカルシンキングスキルと自主的な学びを大切にしており、柔軟性に富んだ共感することのできる世界市民、そして未来にイノベーションをもたらすリーダーを育てる目的としています。

Student Voice

高等部
菅 千都さん



卒業後にも活かせる強みを磨くことができた。

IBの取得を考えたのはSIS中等部の終わり頃。高校卒業後は海外の大学に進みたいと考えていました。IBのディプロマは進学に役立つし、進学後の学びにも活かせる力がつくため、「ぜひ取りたい!」と思って取得を決めました。IBの授業は高校3年間の後半が中心です。そのため、10年生のときには日本の高校の授業を集中的に履修し、卒業に必要な単位を早めに取ってしまいました。2つのディプロマの取得をめざすことは確かに大変です。でも私は、この経験を通じてリーダーシップや批判的思考、レジリエンスなどの能力に磨きをかけ、卒業後も活かすことのできる強みを身につけることができました。SISならではの貴重な経験に感謝しています。

Osaka International School of Kwansei Gakuin

Background Information

Osaka International School (OIS) has been serving the educational needs of the Kansai Region's international community since 1991. It has an enrollment of students from over 25 countries around the world and was the first school in Japan to offer three International Baccalaureate programmes: the Primary Years Programme, the Middle Years Programme and the Diploma Programme. It is thus one of the most established and experienced providers of an IB education in the country. It is also accredited by the Western Association of Schools and Colleges (WASC).

学びの概要

大阪インターナショナルスクール(OIS)は1991年の開校以来、関西に住む世界各国・地域からの児童・生徒たちに対し、国際的な教育を展開してきました。現在25カ国以上からの生徒が在籍しています。日本国内で初めて国際バカロレア (IB) の全プログラム(プライマリー、ミドルイヤー、ディプロマ)の承認を受けて以来、国内で最も歴史ある優れたIB教育校のひとつとして、世界で活躍できる生徒を育てています。またアメリカの認定団体WASC(Western Association of Schools and Colleges)からの認定も受けています。

Admissions

OIS exists to serve families who have a clear need for an English based education. It understands that every family and every child is different and evaluates needs on a case-by-case basis. Admission is decided based on space available, student achievement and motivation, and language support at home. OIS looks for motivated students who can succeed in a challenging and well-rounded programme.

SOIS Shared Programmes SISとOISのシェアードプログラム

共有する学科・活動

■ 美術

発想力や創造力を養い、多様な価値観に触れることができる芸術は、異なる文化的背景を持つ生徒がともに学ぶことで、より効果的な学びへと高まります。多くの国から集まつた生徒が刺激し合いながら自分を見つめ、自分を表現するSISとOISの芸術は、「Two Schools Together」を象徴するものとも言えます。

■ 音楽

世界の共通言語である音楽と一緒に学ぶことにより、2つの学校の生徒たちがチームワークや友情を育むことができます。中等部では吹奏楽、弦楽器、コーラスという3つのクラスが習熟度別に設置されているほか、高等部ではさらに幅広い選択肢を提供。年2回、学外のホールでコンサートを開催しています。

■ 体育

スポーツを通じた交流は、言語や文化の異なる者同士が理解を深めるために非常に有効です。SISとOISでは体育をシェアードプログラムに設定し、両校の生徒がともに学ぶことで相互理解や他者を尊重する心の育成を後押ししています。

■ SISとOISのシェアードクラス 関西学院千里国際中等部・高等部(SIS)・関西学院大阪インターナショナルスクール(OIS)の学年表

[SIS]	中等部 [Middle School]			高等部 [High School]		
	7年生	8年生	9年生	10年生	11年生	12年生
シェアードプログラム Shared Programmes						
G6	G7	G8	G9	G10	G11	G12
Middle School			High School			
※G=Grade						

2 Schools Together At A Glance

	S / S	O / S
Curriculum	MEXT	International Baccalaureate
Grades	7-12 (ages 12 – 18)	K-12 (ages 4 – 18)
Student Body	Around 520	Around 280
Main Language of Instruction	Japanese	English
School Year	April - March	August - June
Graduation Diploma	Japanese MS/HS Diploma	IB Diploma , OIS HS Diploma
College Matriculation	Mainly Japan (some overseas)	Mainly overseas (some in Japan)
Fees (as of March, 2020)	Around ¥ 1,240,000 p/a	Around ¥ 2,420,000 ~ ¥ 2,530,000 p/a



キャンパス年間スケジュール

Annual Events

Two Schools
Togetherを
実感!



Summer

7月 8月

夏休み
夏のキャンプ(7月最初の1週間)
総合探究フィールドスタディ(7月中旬)

•2019年度 夏の課外活動

中等部
ムルティ タニシカさん
中等部で生徒会長を務めました。
SISの学校行事は常にOISと一緒に行われ、"Two Schools Together"を実感できるものばかり。特にSOIS MS交流会では、生徒会の1年間の活動の締めくくりとして、学校や学年の枠を超えてみんながひとつになるイベントの企画に力を入れました。クリスマス気分を味わいながらみんなで温かい時間を一緒に過ごす、冬学期の「クリスマスマーケット」はお気に入りの行事です。
※詳しくはWebサイトで公開いたします。



Spring

4月

入学式
10年生オリエンテーションキャンプ
IBDPアート展示会
クラブ紹介(高等部生徒会主催)
春季リサイタル



5月

中等部交流会(SOIS中等部生徒会主催)
不思議ウイーク★
学園祭(高等部生徒会主催)
秋学期のための履修登録

6月

中等部生徒会選挙
高等部スポーツ表彰式
SOISアート展示
OIS高等部卒業式
春季コンサート
春学期終了

★不思議ウイークとは。
学園祭直前の1週間、生徒会主催で行われます。日替わりで生徒たちが決めたテーマの格好をし、学園祭ムードを盛り上げる行事です。



Two Schools Together—SISとOISという2つの学校は、年間を通じて多彩なイベントを合同で行っています。国籍・性別・学校・学年など様々な垣根を越えて横断的に学ぶなかで、生徒たちは "Informed, caring, creative individuals contributing to a global community" というスクールミッションを体現する力を自然と育んでいきます。



Autumn

9月

秋学期開始(8月末)
OIS学年開始(8月末)
SOIS中等部交流会(SOIS中等部生徒会主催)

10月

不思議ウイーク★
スポーツデイ
8年生校外学習(天体観測)
冬学期のための履修登録

11月

9年生修学旅行
プレゼンテーション大会
総合探究フィールドスタディ
11月下旬に秋学期終了、秋休み後冬学期開始

★不思議ウイークとは。
スポーツデイ直前の1週間、生徒会主催で行われます。日替わりで生徒たちが決めたテーマの格好をし、スポーツデイムードを盛り上げる行事です。

たくさんの仲間と
1つになって
打ち込めるSISが
大好きです!



Winter

12月

ホリディコンサート
winterボーラー(高等部生徒会主催)
クリスマスパーティー(中等部生徒会主催)
冬休み

1月

春学期のための履修登録



2月

オールスクールプロダクション
(SOISミュージカル)
AISAリーダーシップ
AISA数学
高等部生徒会選挙
模擬国連
(マリスト・ブラザーズ・インターナショナル・スクールにて)
冬季コンサート



3月

中等部・高等部卒業式
11年生修学旅行



高等部
岸 里澄さん

クラスが団結して個性豊かなお店を出す学園祭や学年対抗で本気の勝負をするスポーツデイ、ダンスパフォーマンスや美味しい食べ物で賑やかに1年を締めくくるwinterボーラーなど、SISは1年を通じてイベントが盛りだくさん。高等部の生徒会長として、学校生活がもっと楽しくなるよう、OISの仲間と一緒に企画や運営に取り組んでいます。SISは本当に楽しい学校。そんなSISが、私は大好きです!

生徒が語るSIS



一般生として入学

いつもそばで寄り添い、
見守ってくれる
先生の存在が心強い

主体的な学びに惹かれてSISへ

3歳の頃から英語を習っていて、「英語力を伸ばせる中学校を」という思いからSISに入学しました。英語の授業では、帰国生ばかりのクラスに配属。一般生の自分がやっていけるのかと不安に感じ、先生には何度も、「私はこのクラスほどの実力がない」と相談を行ったこともあります。そのときに先生は、「私をぎゅっと抱きしめながら、「あなたなら大丈夫、きっとやれる」と励ましたくれました。そして、ていねいにクラス分けの理由を説明してくれたり、不安を解決する方法と一緒に考えてくれました。SISの先生は、解決策を与えてくれるというよりは、いつもそばで優しく見守ってくれるという接し方をしてくれます。それが私にはとても心地よく、また心強いです。そういった、「第2の母親」といえるような先生の支えもあって、英語力をぐんぐん伸ばすことができています。

得意になったプレゼンを
将来の仕事にしたい

SISでのお気に入りの授業は、「知の探検」という授業。偉人の人生をリサーチし、本人になりきってプレゼンするという授業です。私はスティーブ・ジョブズについて調べました。この授業を通して、WordやPowerpointが使えるようになりました。また、伝える内容や伝え方に工夫することで相手を引き込むことができるという、プレゼンの面白さにも出会いました。欧米では、プレゼンの専門家である「モチベーションスピーカー」という職業があります。私もプレゼン力を磨いて、この職業をめざしたいです。

帰国生として入学

国籍も経歴も関係なく、
“一瞬で”学校に
打ち解けることができる

柔軟な入学の仕組がSIS進学を後押し

小学校5年生の夏休みから中学校3年生の終わりまでをアメリカの現地校で過ごしました。帰国が決まったのは中学3年生の12月。翌年の4月に入学できることを条件にして学校探しをしたところ、候補に上がったのがSISです。入試の機会が豊富で、短期間での入学準備に対しても柔軟に対応してもらえたおかげで、帰国と進学をスムーズに進めることができました。もちろん、せっかく身につけた英語を帰国後も伸ばしていくことは大きなポイントでした。その他に、茶道やカラーコーディネート、保育といった、ユニークな授業があったことも決め手になりました。

自主性を大切にする校風が魅力

SISには中等部から通っている生徒もいます。すでに友だち関係が出来上がっていて、高校からの入学者は馴染むことができるだろうかと不安に思っていました。アメリカの学校とも日本の学校とも違う、独特的な雰囲気に対する不安もありました。でもそれらはすべて、入学してすぐに解決しました。文字通り“一瞬で”学校に打ち解けることができたんです。クラスメイトも先生もとてもフレンドリーで、みんなが温かく新入生である私を受け入れてくれました。SISは、国籍や入学までの経験に関係なく、相手を尊重し、認め合う学校なのです。勉強

や課外活動では、生徒の自主性を重んじてくれます。押し付けられるのではなく自分の考えで行動していきたい人や、そういった人と接しながら成長してきたい人にはとても魅力的な学校ですよ。

A portrait of a young woman with long, dark, straight hair and bangs. She is wearing a white collared shirt and is smiling at the camera against a plain, light-colored background.

高等部
森田 佳月さ

学ぶ環境を もっと知りたい —— Q&A

More about the learning environment —— Q & A

SISとOISが共有するキャンパスは、世界30ヶ国以上から集まった生徒・保護者・教職員による活気にあふれた多文化コミュニティですが、不安や疑問などよくある質問をピックアップしました。

SISとOISが共有するキャンパスは、世界30ヶ国以上から集まった生徒・保護者・教職員による活気にあふれた多文化コミュニティですが、不安や疑問などよくある質問をピックアップしました。

Senri International School and Osaka International School of Kwansei Gakuin share a vibrant multicultural community with students, parents, faculty and staff from over 30 countries around the world. Here you will find answers to some of the most frequently asked questions.



学校生活はこち



ニュース・イベントはこちら



安心して学ぶ

Learn with confidence



SISカウンセリング&サポートシステム

国内・国外の進学先を希望している生徒に、進路サポートセンターとカウンセリングセンターには専門カウンセラーが常駐し、生徒や保護者の皆様をサポートする体制をとっています。また、教育環境整備を行いIT環境も充実したキャンパス運営を行っています。

Our counsellors are here to advise and support all students in their search for the best university to suit their needs, be it in Japan or abroad.

1

国内外への進学サポート 進路サポートセンター

国内

国内で個性を磨く生徒に

進路を決定するのはあくまでも生徒自身。教職員はそのサポート役となり、情報の提供などより良い選択のための環境整備に努める——。この考えにもとづき、キャリア講演会や様々な高大接続行事、個別の進路面談などを行っています。院内推薦制度により、基準を満たした生徒は全員、関西学院大学に進学が可能です。



Studying in Japan

Our career guidance centre supports students as they search for the university course that best serves their needs. Lectures, events, interviews and career fairs are regularly held to help make this important decision. Many of our students choose Kwansei Gakuin University to continue their studies.

Student Voice

学期完結制の学びは編入学と目標の実現に向けた学びの強化にぴったり

高等部
中西 杏菜さん



進路を考えるにあたっては、担任の先生の存在が心強かったです。私の将来の夢や希望を受け止めてくれ、そこに向かって学んでおくべき科目や強化しておくべきポイントをアドバイスしてくれました。進路指導を専門に担当する先生が、進学先に提出する書類や面接の指導など、細かな指導をしてくれたこともありがとうございました。学期ごとに完結する授業の仕組みは、海外からの編入学という点でも、必要な科目的履修という点でも、とても役立ちました。

国外

世界を視野に入れた進路選択を支援

SISでは、毎年1割強の生徒が世界各地の大学に進学しています。海外進学をめざす生徒に対して11年生からオリエンテーションやワークショップを開催。エリアの絞り込みや出願する大学の選び方、奨学金の紹介、パーソナルエッセイの指導などを行っています。BridgeUの導入やOISのカウンセラーと連携していることも、本校ならではの強みです。



Studying abroad

Around 10% of our students attend universities outside of Japan. Workshops and orientation for studying abroad are held from grade 11 (2nd year of high school). Working with the OIS counsellor and online university matching services, the best fit is all but guaranteed!

Student Voice

豊富な情報と経験に基づいたアドバイスをもらえる

高等部
井汲 友梨亜さん



高校卒業後は、アメリカの大学に進学することが決まっています。そこでスポーツ学を学び、将来はオリンピックなどのスポーツに関する仕事に就きたいです。この夢を実現するために、どんな学びが必要なのか、どの学校で学ぶことができるかなど、たくさんの情報をSIS在学中にカウンセラーをはじめとした先生方からいただきました。海外の大学では不可欠になるエッセーの指導については、海外出身の先生がたくさんいて経験を踏まえたアドバイスをもらえることがありました。

2

生活やメンタルケアも充実 カウンセリングセンター

自己の持っている力や気づきを深める場所

進学や編入学、そして帰国など、学習環境や生活環境の変化は、ときに大きな不安を伴います。生徒のなかには、家族と離れて寮などで新生活を始めるケースも。SISでは、学校開設時からカウンセリングセンターを設置。生徒一人ひとりの心に寄り添いながら毎日の生活をしっかりとサポートしています。現在、3人のカウンセラーにより英語での相談も可能です。



Supporting the social and emotional development of students

Adjusting to new surroundings can be unsettling especially during the teenage years. Three counsellors work together to offer social and emotional support to the students of SIS and OIS in Japanese and in English. Students can consult confidentially on any problem - big or small.

Student Voice

先輩が後輩の勉強をサポートする「ピアヘルパー」として活動

高等部
乗松 祐樹さん



先生のアシスタント役として、下級生の授業に入って生徒のサポートをしたり、放課後に課題や復習のお手伝いをするのがピアヘルパーです。私は、アメリカから帰国した9年生のサポートを担当しました。「教える」という体験は、自分自身にとっても決して簡単ではありませんでした。でも、頼りにしてもらえ、教えた内容を吸収して成長していく後輩の姿を間近に見ることができ、とても嬉しかったです。仲良くなればなるほど疑問や不安の解決に役立つことができるので、どんどんピアヘルパーを頼ってください!

3

生徒の自主性を後押し 生徒活動センター

充実した課外活動をサポート

クラブや生徒会活動などの課外活動をサポートするのが生徒活動センター。その支援内容は学外にまでおよび、選択制の夏のキャンププログラムや海外の高校への留学サポートなどを行っています。また、夏休みなどの短期留学や国内外各地で行われるサマープログラム、JAXAなどの研究機関や企業が実施するプログラムの情報提供を行っています。



Beyond academics

The student activity centre organizes and encourages a wide variety of extra-curricular activities. These include clubs, student council, summer camps, and programs and short term studying abroad.

Student Voice

事前のテスト対策や帰国後まで見据えたサポートで安心して留学に挑戦

高等部
鈴木 千花さん



アメリカのカンザス州に、10ヶ月間留学しました。留学に向けては、アメリカでの留学で不可欠になるELTISテストの対策を行ってもらえたことがとても助かりました。また、帰国後の学校への復帰や進路などについても事前に教えてもらえたので、安心して留学にチャレンジすることができました。留学を通して自分自身の価値観や将来に対する考え方方がガラリと変わり、「国際貢献につながる仕事がしたい」と思うようになりました。まずはSISでフランス語を学び、アフリカで社会問題の解決に取り組めるようになりたいです。

進路サポートセンターはこちら ➔



カウンセリングセンターはこちら ➔



生徒活動センターはこちら ➔



学校生活環境

School environment

エントランスを入ってすぐに授業が行われることもある図書館をはじめ、少人数教育に対応した普通教室や、コンピュータや音楽のための特別教室、プラネタリウム、温水プールなど、授業を大切に考えた設備を整えています。



図書館

日本語と英語の本がそれぞれ約3万冊ずつあり、その他の言語で書かれた本もあります。エントランスを入ってすぐ、学校の中心に位置し、常に両校の生徒が自習や協働、読書などに使う他、授業も行われています。



コンピューターサポート

高等部では、生徒自身が購入したデバイスを持参して使用するというBYOD(Bring Your Own Device)を採用。中等部では学校所有のPCやタブレット端末を使い、学びへと活用しています。



シアター

シアターではシーズン毎に音楽の授業の発表会が行われます。また、毎年2月に行われるAll School Production(SOISの生徒が行うミュージカル)、学年の集まり、LHR活動や、普段の音楽の授業など多くの場面で使われています。



カフェテリア

おいしくてヘルシーな食事が人気のカフェテリア。日本食セット、インターナショナルセット、ビーガン&ベジタリアンセットの3つのランチセットに加え、サラダバーなどんぶりなどのアラカルト商品が充実しています。



中庭

天然芝の中庭はカフェテリア横にあり、ランチや放課後、休み時間に生徒が集まります。また、集会、学園祭など多くの行事に利用されます。



各種サイエンスルーム

サイエンスでは、生物室、化学室、物理室、地学室、プラネタリウムの5つの特別教室があり、本格的な実験を行うことができます。授業では、仮説立て、実験計画を作り、実験を行い、記録と考察を書く課題が多く出されます。また、チームサイエンス(科学部)も積極的にこれらの部屋を利用する他、個人で研究を進める生徒もいます。

各種美術室

美術室は3つあり、陶器を焼く窯もあります。SOISでは、理論を学びそれを応用することで美術を包括的に学ぶことができます。水彩画、油絵、陶芸、写真、グラフィックアートなど様々な分野について学び、作品を仕上げます。

クラブ活動

Club Activities

クラブ活動は多くがOISと合同で行われています。SISのクラブ活動には大きく分けて・シーズン制スポーツ(Sabers Sports)・その他のスポーツ系クラブ・文科系クラブ3つのカテゴリーがあります。



クラブ活動に関する情報はこちら▶



シーズン制スポーツクラブ(Sabers Sports)

(ウェブサイトへのリンク(英語)は下記のQRコードから)

SIS/OISの所属リーグ(シーズン制)

① AISA 全6校

(アソシエーション・オブ・インターナショナルスクールズ・イン・アジア)

Korea International School

Seoul International School

Yokohama International School

International School Busan

Korea International School Jeju

② WJAA 全8校

(西日本アスレチック・アソシエーション)

Canadian Academy

E.J. King High School

Kyoto International Univ. Academy

Marist Brothers International School

M.C. Perry High School

Nagoya International School

Fukuoka International School

シーズン制スポーツのポイント

- ① オールラウンドなアスリートになれる。
- ② スポーツを通してより多くの仲間との交流ができる。
- ③ 他のクラブや生徒会活動とも両立ができる。

SISとOISの生徒は、シーズン制スポーツを利用してバランスのとれた生活を送っています。



その他のクラブ[通年]

スポーツ施設



体育館

通常の体育の授業やクラブ活動に使用。2019年夏に冷暖房設備を設置し、より快適に利用できるようになりました。



トレーニングルーム

各種機器が充実しています。授業の他、トライアスロンなどクラブのトレーニングにも使われます。



グラウンド

60m×35mの人工芝で、膝にやさしいゴムチップを使用しています。OISの小学生からSIS・OISの高校生までが授業、クラブ、その他の活動に利用しています。



温水プール

温水の25mプールは5コースあります。真冬でも泳げるため、年に1度必修になっており、着衣水泳など安全に関わる事柄も学びます。

学校カレンダー



シーズン制クラブ活動について



OISのサイト



学費について



開講科目例



SIS/OISのソーシャルメディア



生徒寮

Dormitory

学校から徒歩5分の閑静な住宅地に位置する関西学院千里国際中等部・高等部の生徒寮「あけぼの寮」。この寮には、海外勤務中の保護者を持つ生徒や、国内において通学が難しい生徒が住んでいます。



生徒寮の情報は[こちら](#)



すぐになじめるから心配なし！ 学年を越えた交流も活発

STUDENT
VOICE //



高等部
新田 鈴菜さん

多くの寮生にとって、親元を離れての暮らしや共同生活は初めての経験。「なじめるか不安だった」という新田さんの声が代表するように、緊張とともに寮生活をスタートさせる人がほとんどです。しかしそれも最初だけ。「みんな仲が良くてすぐに溶け込むことができた」(田村さん)、「オープンに受け入れてもらえた」(新田さん)と、2人が話すように、新たな環境には歓迎し、サポートしてくれる仲間が待っています。

田村さんは「もちろん門限など最低限のルールはありますぐ、快適に過ごせるよう、話し合いながら自分たちで約束事を決めています。」この生活スタイルは、「5つのリストペクト」を規範とする本校での過ごし方の現れでもあります。また寮生は、学年を越えた交流が活発です。「先輩から、役立つ科目の情報や勉強のポイントなどを教えてもらっています」というのもメリットです。

「週末には、寮の仲間が集まって一緒に料理をすることもあります。」という新田さん。「おかげで、女子力が高まりました」と。「洗濯や炊事など身の回りのことを自分でする経験や、仲間と日常生活をともにする経験は、自立に向けた良い勉強の機会になっています。」と語る2人。卒業後は世界各地で一人暮らしをすることも多い本校の卒業生。寮生活は、そのための良い準備期間にもなっています。



高等部
田村 琉偉さん



あけぼの寮

保護者が海外勤務中の生徒や、自宅からの通学が難しい生徒が入寮している「あけぼの寮」は、学校から徒歩5分以内という便利な立地。寮生が親睦を深める機会も豊富で、学期ごとのパーティーなどが開かれています。通学に時間がかかるため、多くの寮生がクラブ活動や委員会活動など、放課後の活動に積極的に取り組んでいます。定期的な避難訓練や清掃、部屋の点検などの安全管理も行っています。管理スタッフ・警備員が交替で24時間勤務しています。

寮の基本情報

【所在地】〒562-0032 大阪府箕面市小野原西3丁目29-28
【Tel/Fax】0727-27-5184
【構造】軽量鉄骨2階建て
【面積】敷地:約847m²、延床:約980m²
【寮室数】21室(2人部屋 約18m²/約11畳)
(各室にベッド・机・椅子・本棚・クローゼット)
【設備】男子、女子ゾーンそれぞれにラウンジ・シャワー付浴場・トイレ・ランドリー室・ミニキッチン
(女子ゾーンにはシャワーブースもあります)
【定員】34名(男子16名、女子18名、ただし中学3年生以上に限ります)

卒業生

Our graduates, contributing to the global community

SISの卒業生は、日本国内のみならず、アジア、アメリカ大陸、ヨーロッパを中心に、世界中の有名大学に進学しています。

SIS graduates study at top universities in Japan, the US, Canada, the UK and all across the world.

国内の
大学へ

文武両道に取り組んだSIS時代。

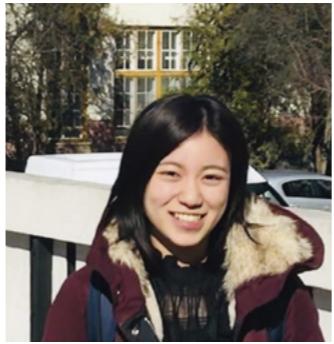


大学で取り組んだ研究は、東南アジアを中心とした人口の急増が予測されている地域における、公共交通を活用した都市開発。この分野では実は日本は先進国であり、日本が培った都市システムを発展途上国へ輸出することをめざした研究も行っています。SISでは、文武両道にあることに力を入れて過ごしました。得意なスポーツに取り組むことはもちろん、苦手な競技にも積極的にトライしたり、勉強では、苦手科目の勉強法をいろいろと変えてみたりしました。その結果、文武両道を実践している生徒に贈られるDr. Fukuda賞を受賞できました。2019年4月からは東京大学大学院で研究に取り組みます。さらに研究を進めて、世界の人々に貢献していきたいです。

関西学院大学 総合政策学部 都市政策学科卒 宮本 麟太郎さん(2015年卒業)

海外の
大学へ

目標は、発展途上国の子どもを支える小児科医。



現在、ハンガリーのデブレツェン大学医学部で学んでいます。小学生の頃から英語に興味があり、また、将来は世界で働きたいと思っていたことから、SIS中等部へ入学しました。英語の授業は入学時から先生がネイティブ、体育や美術などは先生が外国人、OISと共に学ぶなど、SISは英語をマスターするにはぴったりな環境でした。授業ではディスカッションの機会が豊富なこともあり、物事を多面的に捉えて考える力がつきました。現在の目標は、大学を所定の6年間で卒業し、ヨーロッパの医師免許を取ること。日本とアメリカの医師免許もめざしています。そして将来は、発展途上国の子どもたちを支える小児科医になりたいです。

University of Debrecen Faculty of Medicine 於勢 悠花さん(2017年卒業)

社会へ
出て

水中で呼吸を可能にする「エラ」の開発に取り組む。



生物の動きや機能を応用して技術開発を行う「バイオミメティクス」という分野が専門で、東北大學とイギリスのロイヤル・カレッジ・オブ・アートで研究を行った後に、AMPHIBIO LTD.を設立しました。現在、水中での呼吸を可能にする「人工のエラ」開発に取り組んでいます。SISでは、自分の興味や関心を突き詰めていき、自分自身で学びながら物事を進める一方で、生徒会メンバーとしてチームで何かを成し遂げる経験ができたことがとてもよかったです。さらに国際的かつ多様性あふれる環境で過ごせたことが、多国籍メンバーで挑む現在の研究にとても役立っています。SISの化学室は、今の私の原点といえます。ここから始まった研究への興味を、いつの日か、歴史に残る偉業へつなげていきたいです。

AMPHIBIO LTD. 亀井 潤さん(2009年卒業)

進学状況実績

College Matriculations

SIS 2017-2019年度(過去3年間)の大学等合格状況です。

卒業生の活躍・進学状況はこちら ➤



入試に関する情報はこちら ➤



入試情報

Entrance examination information

本校に入学を希望する生徒は、「帰国生」「国内一般生」「海外生」と様々です。入学後に提供する教育はすべて同じものですが、入学に至る受験プロセスは、帰国生入試／帰国生特別入試、海外生入試、一般生入試／国際生入試と、それぞれ異なります。

●関西学院大学進学者数(院内推薦、その他入試方式を含む)

学 部	2017年度	2018年度	2019年度
神学部	0	0	0
文学部	3	5	4
社会学部	4	0	6
法学部	6	1	3
経済学部	3	0	6
商学部	5	5	9
総合政策学部	5	6	9
理工学部	1	6	3
人間福祉学部	1	3	3
教育学部	3	3	2
国際学部	14	4	12
合計	45	33	57

●国内大学 大学校 合格者数

大 学 名	2017年度	2018年度	2019年度	学 部 等
防衛大学校			2	理工/人文社会

●国内大学 国公立大学 合格者数

大 学 名	2017年度	2018年度	2019年度	学 部 等
国際教養大学	2		1	国際教養
東京都立大学			1	都市環境工学
富山大学		1		人文
福井大学		1		医
京都工芸繊維大学	3		1	工芸/工芸化学
京都大学			2	教育/経済
大阪大学	1	2		理工/外国語
神戸大学			1	経済
岡山大学		1		Discovery Program for Global Learners
九州大学	1			理
琉球大学		1		農
弘前大学			1	医

●私立大学 合格者数

大 学 名	2017年度	2018年度	2019年度	学 部 等
国際医療福祉大学	1			医学部
慶應義塾大学	3	1	1	法/総合政策/経済
上智大学	6(1)	3(1)	5	国際教養/法/総合人間科学/外国語/経済
国際基督教大学	5	1	3	教養
早稲田大学	2	3	7	政経/国際教養/文/文化構想
法政大学		2		理工/グローバル教養
中央大学		1(1)	2(1)	法/国際経営
青山学院大学		2	1	文/総合文化政策/地球社会共生
日本体育大学			1	体育
立教大学			1	社会
日本大学		1	1	生物資源/芸術
東京理科大学	1			理
東京農業大学		1		
デジタルハリウッド大学		1		デジタルコミュニケーション
多摩美術大学	1			美術
明治学院大学	1			
愛知医科大学			1	医
京都外国语大学			1(1)	外国語
京都女子大学		1	1	現代社会/家政
京都薬科大学			1	薬
京都光華大学			1	健康科学
同志社大学	2	1		グローバル地域文化/政策
立命館大学	5(1)	1	5	国際関係/グローバル教養/理工/経営
大阪芸術大学	1			映像/写真
関西大学	1		3	システム理工/文/環境都市工学
大阪薬科大学			1	薬
近畿大学	1		4	建築/理工/工
摂南大学	1		1	薬/理工
神戸薬科大学			1	薬
武庫川女子大学			2	薬/食物栄養科学
立命館アジア太平洋大学		1	2	アジア太平洋

●短期大学 合格者数

大 学・学校名	2017年度	2018年度	2019年度	学 部 等
大分県立芸術文化短期大学	1			

*2019年度は3月31日現在

卒業者数: 2017年度 84名 2018年度 86名 2019年度 100名

●専門学校 合格者数

学 校 名	2017年度	2018年度	2019年度	学 部 等
大阪アニメーションスクール		1		声優
放送芸術学院		1		メディアクリエイト

●海外大学 合格者数 (2019年度海外大学合格者状況は未確定)

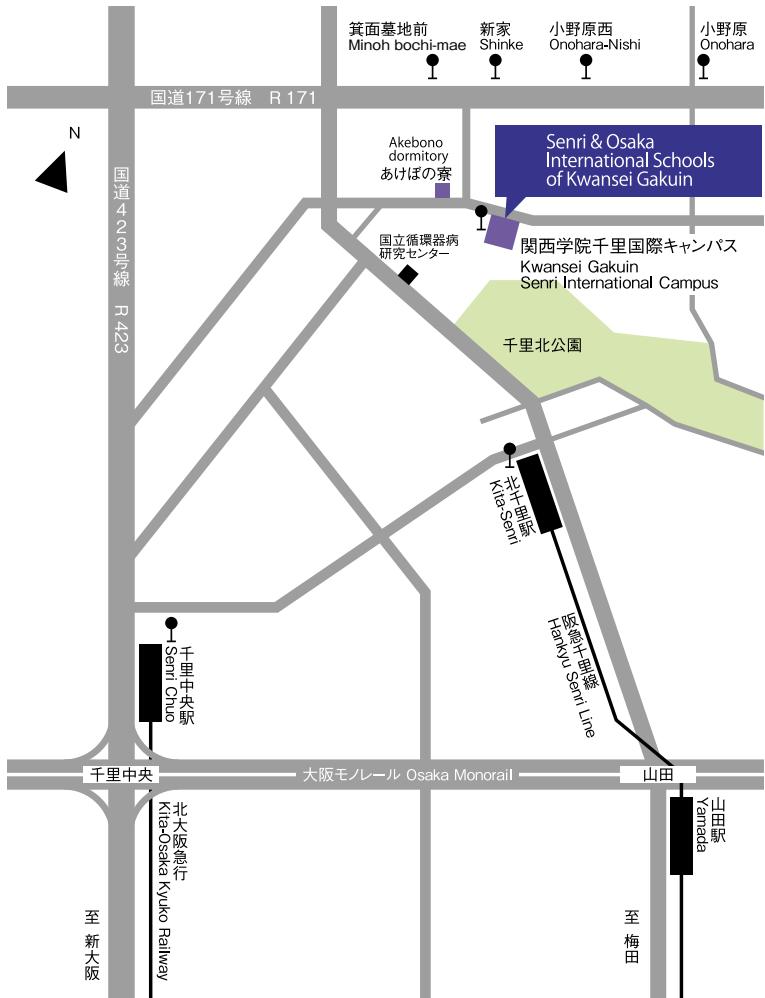
大 学 名	2016年度	2017年度	2018年度	国 名
King's College London		1		英国
University of the Arts London		1		英国
University of Southampton		1		英国
The Glasgow School of Art	1			英國
University for the Creative Arts	1			英國
University of Brighton	1			英國
Arts University Bournemouth	1			英國
Nottingham Trent University	2			英國
University of Warwick		1		英國
University of York		1		英國
Middlesex University London		1		英國
University of Leeds		1		英國
Lancaster University		1		英國
University of East Anglia		1		英國
Mount Allison University	1			カナダ
Trinity Western University	1			カナダ
University of British Columbia	1	1		カナダ
McGill University	1			カナダ
Saint Mary's	1			カナダ
York University	1			カナダ
Georgian College		1		カナダ
Fraser International College		1		カナダ
Simon Fraser University		1		カナダ
Northeastern University		1		米国
California Lutheran University		1		米国
Temple University, Japan Campus	1	1	1	米国
Berkeley College			1	米国
Fashion Institute of Design & Merchandising		1		米国
Borough of Manhattan Community College		1		米国
University of California, Santa Barbara		1		米国
University of California, Irvine		1		米国
University of California, Davis		1		米国
University of California, San Diego		1		米国
University of California, Santa Cruz		1		米国
University of California, Riverside		1		米国
University of California, Merced		1		米国
University of Hawaii, Hilo		1	1	米国
Academy of Art University		1		米国
Humber College		1		米国
Santa Monica College		1		米国
Purdue University			1	米国
University of South Florida			1	米国
De Pauw University			1	米国
The Australian National University		1		豪州
Kapiolani Community College		1		豪州
TAFE Queensland Southbank	1			豪州
Queensland University of Technology		1		豪州
University of New South Wales		1		豪州
University of Queensland		1		豪州
John Cabot University	1			イタリア
Universidad Carlos III de Madrid		1		スペイン
Les Roches International School of Event Management		1		スペイン
Les Roches International School of Hotel Management		1		スイス
University of Debrecen	1	1		ハンガリー
Budapest Metropolitan University	1			ハンガリー
Utrecht University		1		オランダ
Leiden University		1		オランダ
University of Amsterdam		1	1	オランダ
Erasmus University Rotterdam		1		オランダ
New York University Abu Dhabi	1			UAE
台湾大学	1	1		中国
武漢大学			1	中国

*合格人数は、過年度生(浪人)合格人数を含む、並びに人数(同一大学同一学部・学科に複数方式で合格しているものは1人に数える)
※内()内は、院内推薦・指定校推薦入試合格人数
※過年度(浪人)区分で、不明・無回答も含む
※海外の大学に関しては、合否通知時期の都合上前年度分の情報を掲載

●2020年6月 ➤ 2021年3月 入試日程 ●高等部の一般生入試と国際生入試の募集は行っておりません。

入学試験内訳	入学時期*		入試日	会場	入学する学年	出願期間	合否発表	入学金納入期限
2020年	2021年							

<tbl_r cells="2" ix="2" maxcspan="1" maxr



関西学院との位置関係マップ



キャンパスまでの所要時間

アクセスは
こちらから

鉄道

■ 大阪メトロ: 御堂筋線・北大阪急行
梅田 北千里中央…約20分

■ 阪急電車: 京都線・千里線利用の場合
梅田 北千里…約29分

バス

■ 阪急バス: 粟生団地線 78系統
千里中央 本校…約22分

■ 阪急バス: 粟生団地線 78系統
北千里 本校…約12分

Senri International Campus of Kwansei Gakuin 関西学院千里国際キャンパス

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西4-4-16

4-4-16 Onohara-Nishi, Minoh-shi, Osaka, 562-0032 Japan

Tel (+81) 072-727-5050

Fax (+81) 072-727-5055

email: admissions@senri.ed.jp

web: <http://www.senri.ed.jp>

Webサイトは
こちらから

